青森県経済統計報告

　　　令和元年７月５日

企画政策部統計分析課

１　青森県の推計人口（令和元年6月1日現在）……………………………………………………　 1

|  |
| --- |
| 県人口　1,249,314人（対前月1,073人減少）  自然動態　1,005人減少（出生者数　 635人、死亡者数　1,640人）  社会動態 68人減少（転入者数 1,360人、転出者数 1,428人） |

２　本県の経済動向（平成31年4月・令和元年5月の経済指標を中心として）

（１）経済概況

|  |
| --- |
| 本県経済は、このところ生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。 |

（２）主要経済指標の動向

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| (2-1) | 生産動向 | ・平成31年4月の**青森県鉱工業生産指数**(平成22年＝100)は、季節調整済指数が 110.8 で、前月比3.2％の上昇となり、3カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 112.2 で、前年同月比 1.2％の低下となり、2カ月連続で前年同月を下回った。 | … | 2 |
| (2-2) | 雇用労働 | ・平成31年4月の**定期給与**は221,996円で前年同月比3.4％増となった。**総実労働時間**は152.9時間で前年同月比1.6％減、**所定外労働時間**は9.4時間で前年同月比9.6％減となった。  ・令和元年5月の**有効求人倍率**（季節調整値）は1.23倍で、前月を0.06ポイント下回った。 | … | 3 |
| (2-3) | 物　　価 | 令和元年5月の**青森市消費者物価指数**（平成27年=100)は、総合指数が102.4となり、前月比0.1％の上昇、前年同月比0.8％の上昇となった。また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.1となり、前月と同水準、前年同月比0.4％の上昇となった。 | … | 5 |
| (2-4) | 個人消費 | ・令和元年5月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが135億円で前年同月比0.1％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比1.7％増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。  ・令和元年5月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は3,415台で、前年同月比5.8％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。  ・令和元年5月の**観光入込客数**は、主な観光施設が1,111千人で前年同月比7.1％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は144千人で前年同月比4.8％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。 | … | 6 |
| (2-5) | 建　　設 | ・令和元年5月の**新設住宅着工戸数**は514戸で、前年同月比10.8％減となり、5カ月ぶりに前年同月を下回った。  ・令和元年5月の**公共工事請負額**は194億8,900万円で前年同月比1.2％増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。 | … | 7 |
| (2-6) | 企業倒産 | 令和元年5月の**企業倒産**は、件数は10件で前年同月比233.3％増となった。負債総額は7億2,100万円で前年同月比387.2％増となった。 | … | 8 |

（３）景気動向指数ＣＩ（平成31年４月分）……………………………………………………　 …　　9

|  |
| --- |
| 先行指数　 130.1（前月を12.7ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、2カ月ぶりに上昇した）  一致指数　 153.3（前月を5.5ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、3カ月ぶりに上昇した）  遅行指数　 107.5（前月を0.7ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、2カ月ぶりに下降した） |





**（２－２）雇用労働**

**（２－２－１）給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）**

　平成31年4月の定期給与は221,996円 で、定期給与指数（平成27年＝100）では102.8となり、前年同月比3.4％増と4カ月連続の増（現金給与総額229,855円、現金給与総額指数91.7、前年同月比4.7％増）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は83.0となった。

　総実労働時間は152.9時間で、総実労働時間指数は98.9となり、前年同月比1.6％減と8カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は9.4時間で、所定外労働時間指数は81.7となり、前年同月比9.6％減と15カ月連続の減となった。





**（２－２－２）有効求人倍率**

令和元年５月の有効求人倍率（季節調整値）は1.23倍で、前月を0.06ポイント下回った。就業地別有効求人倍率は1.35倍で、前月を0.06ポイント下回った。



（参考）充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

　令和元年５月の充足率は24.4％で、前年同月と同値となった。



**（２－３）物価**

　令和元年5月の青森市消費者物価指数（平成27年=100)は、総合指数が102.4となり、前月と比べ0.1％の上昇、前年同月と比べ0.8％の上昇となった。

　生鮮食品を除く総合指数は102.7となり、前月と比べ0.2％の上昇、前年同月と比べ0.7％の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は102.1となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.4％の上昇となった。

　総合指数が前月と比べ0.1％の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道（他の光熱費）、家具・家事用品（家庭用耐久財など）などの上昇が要因となっている。

　総合指数が前年同月と比べ0.8％の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道（他の光熱など）、家具・家事用品（寝具類など）などの上昇が要因となっている。





　※　**寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示した  
 ものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比（％）

の値に一致する。

前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された

指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

　本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

**（２－４）個人消費**

**（２－４－１）百貨店・スーパー販売額**

令和元年５月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが135億円で前年同月比0.1％減となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。また、既存店ベースでは前年同月比1.7％増となり、3カ月連続で前年同月を上回った。



　＊　大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メ－トル以上の商店をいう。

そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

**（２－４－２）乗用車新車登録・届出台数**

令和元年５月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,415台で、前年同月比5.8％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。普通乗用車及び軽乗用車が増加したことによる。



**（２－４－３）観光入込客数**

令和元年５月の観光入込客数は、主な観光施設が1,111千人で前年同月比7.1％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は144千人で前年同月比4.8％増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。観光施設は青森市、西目屋村等の施設で増加し、宿泊施設は八戸市等の施設で増加したことによる。



**（２－５）建　　設**

**（２－５－１）住宅建設**

　令和元年５月の新設住宅着工戸数は514戸で前年同月比10.8％減となり、５カ月ぶりに前年同月を下回った。主に貸家が減少したことによる。

**（２－５－２）公共事業**

令和元年５月の公共工事請負金額は194億8,900万円で前年同月比1.2％増となり、市町村などの増加により３カ月連続で前年同月を上回った。また、令和元年５月までの累計金額は496億400万円で前年同期比18.3％増となった。



**（２－６）企業倒産**

　令和元年５月の企業倒産は、件数は10件で前年同月比233.3％増となった。負債総額は7億2,100万円で前年同月比387.2％増となった。また、令和元年５月までの累計倒産件数は11件で前年同期比57.1％増、負債総額は9億7,500万円で前年同期比7.4％の減となった。



**（３）青森県景気動向指数**

　平成３１年４月の青森県景気動向指数（ＣＩ）は、先行指数130.1、一致指数153.3、遅行指数107.5となった。

　先行指数は、前月を12.7 ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、２カ月ぶりに上昇した。

一致指数は、前月を5.5 ﾎﾟｲﾝﾄ上回り、３カ月ぶりに上昇した。

遅行指数は、前月を0.7 ﾎﾟｲﾝﾄ下回り、２カ月ぶりに下降した。

４月の一致指数は雇用、生産関連の指数がプラスになったことから上昇した。



